

下記記事は本年6月29日の東京新聞に掲載された、今回ご案内の市民討議会を「徹ロン」と題して紹介していただいた記事です。

「世論」とは、一般の人が社会的な問題に対しての態度や考えのことです。政治も世論とは密接不可分です。しかし、本日の世論はどこにあるのか。そして、世論はどのように形成されるのか。これを判断するのはとても難しいものです。今回の政治塾は、世論を形成し、政治の正確な判断材料になり得る新しい取り組みを紹介してみます。

市民参加「徹ロン」の試み

従来の世論を測る方法は世論調査やタウンミーティング(TM)のような市民会議があります。世論調査は、多数の人に同じ質問をぶつけて分析できるので、人々の考えの動向を調べるのに、参考になります。ただ、世論調査はたい

マラソン討議で世論形成

い電話で、矢継ぎ早に聞かれるので、じっくり考えた上での回答にはなりません。調査を受けたことのある人の中には、心の準備のできない間に次々と質問され、混乱してしまった経験を持つ人もいます。TMは、参加希望者が集まって議論します。じっくり話し合える長所もありますが、関心ある人だけが参加するので、そこでの結論が国民の平均的意見とはいえません。

所(JC)らが取り組んでいます。初耳の人も多いでしょうから、徹ロンの仕組みを簡

単に説明します。紹介する市民討議会(徹ロン)です。東京青年会議所(JC)らが取り組んでいます。初耳の人も多いでしょうから、徹ロンの仕組みを簡

単に説明します。紹介する市民討議会(徹ロン)です。東京青年会議所(JC)らが取り組んでいます。初耳の人も多いでしょうから、徹ロンの仕組みを簡

付けたものがあります。今、単に説明します。紹介する市民討議会(徹ロン)です。東京青年会議所(JC)らが取り組んでいます。初耳の人も多いでしょうから、徹ロンの仕組みを簡

付けたものがあります。今、単に説明します。紹介する市民討議会(徹ロン)です。東京青年会議所(JC)らが取り組んでいます。初耳の人も多いでしょうから、徹ロンの仕組みを簡

◎欧米は既に…

◎衆院選に向けて

◎3時間半も
その両者の中間的な位置

大人でも説明できない

子どもでも理解できる

市民討議会(徹ロン)とは



無作為で選んだ人を集めてじっくり話し、徹ロンは、世論調査、TM両方の長所をつなぎ留め、欠点を補っているともいえます。そして、市民が政治・行政に関心を持つきっかけとなることも期待できます。

マニフェストの参考にも

徹ロンは二〇〇五年から都内を中心に行われていたが、まだまだ理解されていなくて、呼びかけてもなかなか参加者が集まらない悩みを抱えています。また、徹ロンの結論が、行政などに反映されていると言えない面もあり、いろいろな面で発展途上です。ただ、日本では来秋までには間違いなく衆院選があります。各党はこれからマニフェストづくりに本腰を入れますが、国民の世論がどこにあるのか、つかみかねているのが現状です。今後、徹ロンのような市民参加の議論が重ねられ、その結果を政党が受け止め、マニフェストづくりに活かすように進めたい。民主主義の深化に一役買うことになるかもしれません。(金井辰樹)



「無法ビコ政府」の本要

る。

PTはDの公共事業の

上、公務員の交友関係

「一問一答」

「居酒屋タクシシーの使用時間の厳格」見直しの対象は総額

「ヒトクサ」

「ヒトクサ」